

# 令和6年度 厚木市と市内5大学との 連携事業計画

	連携の種類	件数 (新規事業数)
1	委員会等の委員 (※附属機関等除く)	6
2	学習講座等に対する協力 ① 市の講座に対する協力 ② 大学の講座に対する協力	11 9(4) 2
3	学生によるボランティア	5
4	事業に対する協力 ① 市の事業に対する協力 ② 大学の事業に対する協力	19 16(2) 3
合計		41
※令和6年度新規事業数		6

# 1 委員会等の委員

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
1	厚木市友好交流委員会	市内大学関係者に委員として参加していただき、厚木市の国際交流事業に大学の意見を反映するとともに、大学との協働による事業を展開する。	友好都市等との交流、国際理解の促進、国際平和に貢献できる諸事業を推進する。	H13年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川工科大学基礎・教養教育センター 大木 富教授</li> <li>・松蔭大学 コミュニケーション文化学部 異文化コミュニケーション学科 高橋 敏哉教授</li> <li>・湘北短期大学 グローバルコミュニケーションセンター副センター長 山形 俊之准教授</li> <li>・東京工芸大学 海老澤 模奈人教授</li> <li>・東京農業大学 農学部 野村 こう教授</li> </ul>	—	市内大学関係者に委員として参加してもらうことにより、厚木市の国際交流事業に大学の意見を反映するとともに、大学との協働による事業を展開するために必要である。	1_委員会等の委員		企画政策課
2	松川サク工業振興基金事業	市内工業系大学の優秀卒業生に松川サク工業賞の授与を行う。	名誉市民の故・松川サク氏の遺志による寄附を基に、次世代の人材を育成し、工業の発展を図ることを目的とする。	S63年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川工科大学 尾崎 亮典 常務理事</li> <li>・湘北短期大学 高嶋 章雄 准教授</li> <li>・東京工芸大学 田川 里恵子 事務部長</li> </ul>	400	将来の工業発展、次代を担う若者の科学心の高揚が図られる。	1_委員会等の委員		産業振興課
3	厚木市・大学図書館相互利用連絡会	相互利用に関する実務担当者をもって組織し、相互利用を円滑に推進するための連絡会を開催する。 (平均年1回開催)	大学図書館及び中央図書館の実務担当者が図書館の相互利用を円滑に推進するため、貸出しの事務についての確認や協議を行う。	H13年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川工科大学</li> <li>・松蔭大学</li> <li>・湘北短期大学</li> <li>・東京工芸大学</li> <li>・東京農業大学</li> </ul>	—	「厚木市内の大学図書館と厚木市立中央図書館との相互利用に関する協定書」で設置が規定されており、「厚木市立中央図書館所蔵資料の大学図書館への貸出しに関する取扱要綱」で、定めのない事項については連絡会で協議することになっている。各図書館の実務担当者が実際に顔を合わせ、意見や情報交換をすることができる唯一の場である。	1_委員会等の委員		中央図書館

## 2-① 学習講座（市の講座に対する協力）

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
1	荻野小学校区地域子ども教室「ものづくり体験教室～七宝焼&小物入れを作ろう～」	荻野小学校区地域子ども教室の事業として、神奈川工科大学で、荻野小学校の生徒を対象にものづくり体験教室を行う。	子ども達が、ものづくりの知識を楽しく学び、論理的な思考を身に付けることを目的に「ものづくり体験教室～七宝焼・小物入れを作ろう～」を開催する。	R6年度	神奈川工科大学工学教育研究推進機構技術支援室KAIT工房 マネージャー 小林 操	—	大学の先生や学生と一緒に学習する機会を提供することで、地区内在住の小学生に対し大学での学習への興味関心を広げ、専門性の高い学習ができる機会を設ける。	2-1_市の講座に対する協力		荻野公民館・地区市民センター
2	荻野公民館学級・講座「神奈川工科大探検とものづくり」	荻野公民館学級・講座の事業として、神奈川工科大学で、荻野地区在住の小学生（4年生以上）を対象に神奈川工科大探検とものづくり体験教室を行う。	子ども達が、ものづくりの知識を楽しく学び、大学で学習することへの興味関心を広げることを目的に「神奈川工科大探検とものづくり」を開催する。	R6年度	神奈川工科大学工学教育研究推進機構技術支援室KAIT工房 マネージャー 小林 操	—	大学の先生や学生と一緒に学習する機会を提供することで、地区内在住の小学生に対し大学での学習への興味関心を広げ、専門性の高い学習をすることができる。	2-1_市の講座に対する協力		荻野公民館・地区市民センター
3	小鮎公民館学級・講座「おもしろ理科実験2024」	学級講座において小中学生を対象に理科の実験教室を開催する。 (夏休み体験教室)	大学職員が講師となり楽しい実験教室を実施し、参加者、保護者とともに理科の不思議を学ぶ。	R5年度	東京工芸大学職員、学生	—	様々な実験に参加し、驚き感動を覚えることにより、理科に対する興味を啓発する。	2-1_市の講座に対する協力		小鮎公民館
4	学級講座「ことぶき大学」 農大ブランド化を目指しているデザート野菜「ペピーノ」の魅力を学んでみよう！	南毛利地区内在住の60歳以上を対象に、学級講座「ことぶき大学」を開催する。 東京農業大学の先生を招き、ペピーノの魅力について学ぶ。	高齢者に学びの場を提供する。 ペピーノについて知ってもらう。	R6年度	東京農業大学 農学部 農学科 教授 高畑 健	10	高齢者に学びの場を提供し、知識の習得に貢献する。また、東京農業大学及び厚木市がブランド化を目指しているペピーノについて、より多くの市民に認知してもらうことができる。	2-1_市の講座に対する協力		南毛利公民館・地区市民センター

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
5	戸田小学校区地域子ども教室推進事業	・体験教室「きみも名探偵！色でわかる科学捜査」 ・神奈川工科大学見学	安心、安全な子どもの居場所としての地域子ども教室運営事業を実施することにより、未来を担う子どもたちの健全な成長を促し、科学に対する関心を高めることを目的とする。	H17年度	講師 神奈川工科大学 工学部 応用化学生物部 齋藤 貴 教授 学生スタッフ 4人 地域連携・貢献センター 2人 参加者 戸田小学校生徒 24人	21	小学校では体験できない実験を行うことで子どもたちの科学への関心を高めることができる。 また、厚木市の大学の魅力を知り、興味を持ってもらうことで将来の選択肢につなげることができる。	2-1_市の講座に対する協力	7月13日(土) 9時30分～11時 30分	相川公民館・ 地区市民センター
6	学級講座開催事業 「ネイチャー教室」	東京農業大学の学生が指導者になり、小学生を対象にネイチャーゲームを実施する。	東京農業大学の学生と地域の小学生が、ネイチャーゲームを通じて交流を図る。	H15年度	東京農業大学自然教育研究会ネイチャーズクラブ 50人	55	大学生と小学生という異なる世代間の交流を通じて、小学生に対し自然への学習の機会を設けるとともに、豊かな社会性を育むことに貢献している。	2-1_市の講座に対する協力		愛甲公民館・地区市民センター
7	子育て支援センター夏まつり	アミューあつぎ10周年記念イベントとして、屋内広場solaにおいて夏まつりを実施する。	子育て支援センターの認知度を向上させることを目的とする。 また、湘北短期大学の学生に実習の場として活用してもらう。	R6年度	湘北短期大学 准教授等2人(保育学科高橋雅人准教授(ほか1人)、学生22人	200	事業を通して、学生に子どもや保護者とふれあう場を提供し、就労する際に参考となるよう、学びや気づきを提供する。	2-1_市の講座に対する協力		こども家庭センター
8	子育て支援者研修会	地域で子育て支援に取り組む市民を対象とした講座として開催する。	地域で子育て支援に取り組むための基礎的な知識を得るとともに、実際に活動を展開するための具体的な支援方法について学ぶ。	H22年度	湘北短期大学 保育学科 ・鈴木 弘充教授 ・高橋 雅人准教授	60	子育て支援について理解を深めていただき知識の習得に貢献する。	2-1_市の講座に対する協力		こども家庭センター
9	身近な環境工コツア― 「農大で生きものさがしをしてみよう」	市内在住在学の小学生とその保護者が対象。参加者は、東京農業大学にある雑木林で専門的知識を持つ教授と学生のサポートを受けながら、生きもの探しを行う。また、採集できた生きものは、農大施設内で、学生の解説を交えながら参加者全員で観察する。	市内における生物多様性の豊かさを知ってもらうとともに、その重要性について理解を深めてもらう。	R5年度	東京農業大学 教授 三井裕樹 学生11人	—	参加者に市内の身近にある豊かな自然を実感してもらうとともに、市内大学のPR効果、参加者の親子に向けた説明や対応など学生の成長も促す効果が期待できる。	2-1_市の講座に対する協力		環境政策課

## 2-② 学習講座（大学の講座に対する協力）

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
1	環境学習講座	神奈川工科大学の授業「Stop the CO2 入門」の年度当初の講義にあたり、「ごみの正しい出し方」及び地球温暖化対策講座についての職員の派遣が依頼され、講義を行う。	「Stop the CO2入門」の講義を選択した学生に、ごみと地球温暖化対策の講義を行い環境意識を高め、授業を受講する学生の目的意識を高める。	H21年度	神奈川工科大学 教授 今井 健一郎 受講者 75人	—	「Stop the CO2入門」の授業を選択した学生にごみと地球温暖化対策の講義を行い環境意識を高め、授業を受講する学生の目的意識を高めることができる。	2-2_大学の講座に対する協力		環境政策課
2	東京農業大学入門	東京農業大学からの依頼で同校の新入生必修科目である「東京農業大学入門」に職員を派遣し、「防災」「消費者生活」「薬物乱用」「セーフコミュニティ」についての講義を行う。	東京農業大学の新生に、防災、消費者生活、薬物乱用、セーフコミュニティに関する正しい知識を身につけてもらうとともに、安心・安全なまちづくりへの協働意識の向上を図る。	H24年度	東京農業大学 学生 592名	—	東京農業大学の新生に、防災、消費者生活、薬物乱用、セーフコミュニティに関する正しい知識を身につけてもらうとともに、安心・安全なまちづくりへの協働意識を高めることができる。	2-2_大学の講座に対する協力		くらし交通安全課

### 3 学生ボランティア

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
1	つかみどり大会	玉川に生簀を仮設し、小学生を対象とした、鮎や鱒のつかみどり大会を実施する。	川に親しむシーズンをとらえ、当地区住民が自然と親しみながら住民同士のふれあいを促進する。	H29年度	東京農業大学 学生	—	大会の円滑な運営（参加者受付補助、会場整理等）に大いに貢献している。 小学生が運営に携わる大学生の姿を見て「ボランティア」精神が育まれることに寄与。	3_学生ボランティア		愛甲公民館・地区市民センター
2	あつぎの魅力創造発信事業	住みたい・働きたい・訪れたいと思える魅力あるまちづくりに向けた事業及びあつぎの魅力を創造し全国に発信する事業を実施する。	20歳代を中心とした若い世代の定住促進・転出抑制を図る。	H28年度	市内5大学生10人（各大学2人ずつ）	6,300	大学生の参加を得ることで、事業の趣旨である20歳代の定住促進を図る目的に寄与することができる。	3_学生ボランティア		企画政策課
3	里地里山保全ボランティア	市内の里地里山の保全に関心のある大学生を募集し、市で認定する活動団体と一緒に保全作業を実施する。	里地里山の保全活動団体が抱える会員減少の問題に対応するとともに、大学の地域社会への貢献や学生の社会体験の場として、学生ボランティアを募集し持続的な保全活動を目指す。	R5年度	東京農業大学 学生3人 松蔭大学 教授 古賀学ほか 学生1人	—	活動団体の担い手不足を補うことと併せて、若い世代の作業参加による活性化を図る。 また、学生には保全作業を通じて、地域とのつながりを経験することができる。	3_学生ボランティア		環境政策課

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
4	学生等によるにぎわいアドベンチャー隊事業	厚木市及び厚木市まちなか活性化プロジェクトが学生等と協働して、「にぎわいアドベンチャー隊事業」を展開。学生の目線を取り入れて、中心市街地のにぎわい創出につながる事業を企画開催する。	本厚木駅周辺における中心市街地のにぎわい創出と回遊性の向上を図る。	H20年度	神奈川工科大5人 湘北短大1人 松蔭大6人 東京農業大1人	2,554	令和5年度の市民実感度調査によると「中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合」は30.6%となり、目標値には及ばなかった。 にぎわいアドベンチャー隊員連絡会を組織することにより、学生の意見等を事業に反映することができ、幅広い世代に対する情報発信や集客に寄与することが期待できる。また、学生の顧客対応などのマーケティング教育の実践の場としても効果は見込まれる。	3_学生ボランティア		商業観光課
5	青少年非行防止活動事業（第36回心と街のクリーン作戦）	青少年の健全育成啓発活動として本厚木駅周辺において薬物乱用防止並びに非行防止活動キャンペーンを実施する。参加大学生及び高校生の一部は、実行委員として関与いただく。	青少年自らが啓発活動を実施し、青少年を取り巻く環境の美化と喫煙飲酒薬物乱用防止・非行防止を広く市民に訴える。	H1年度	湘北短期大学 東京工芸大学 神奈川工科大学 東京農業大学 松蔭大学	9,138	啓発活動の実施により青少年の健全育成を推進することができる。	3_学生ボランティア		青少年教育相談センター

#### 4-① 事業に対する協力（市の事業に対する協力）

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
1	市制70周年記念特別表彰	令和7年2月1日の厚木市制施行70周年を記念して、市政の発展、公共の福祉の増進、文化の向上等において多大な貢献のあった個人及び団体に対し特別表彰を行う。	市政の発展、公共の福祉の増進、文化の向上等において多大な貢献のあった個人及び団体に対し特別表彰を行い、厚木の誇りを未来へつないでいく。	R6年度	・市内5大学	6,889	令和7年2月1日の厚木市制施行70周年を記念して、実施する特別表彰において、特に30歳未満の若い世代に注目し、市では把握しづらい、順位などの功績では図ることができない活動で他の模範となる功績に光をあて、厚木の未来を次代へつないでいく。	4-1_市の事業に対する協力		秘書課
2	行政コンテンツ作成事業	デジタルサイネージ、インターネット、SNSなどの映像メディアを活用して配信する行政情報CMを、大学生の豊かな発想力と専門性を生かして作成する。	映像を通じた行政広報の充実を図るとともに豊かなコミュニティの創造を目指す。	H18年度	・東京工芸大学 工学部工学科 森山准教授 学生10人程度	220	大学の最新の技術と学生の斬新なアイデアを取り入れ、コンテンツを制作することができる。映像撮影や編集の実践になり、学生の技術向上や発表の場の提供にもつながる。	4-1_市の事業に対する協力		広報シティブロモーション課
3	70周年プロモーション業務委託（映像）【70周年】	市制70周年に合わせ、大学の技術を生かしたアニメーション動画を作成する。	映像を通じた行政広報の充実を図るとともに豊かなコミュニティの創造を目指す。	R6年度	・神奈川工科大学 情報学部情報メディア学科 村上教授 学生10人程度	5,500	大学の最新の技術と学生の斬新なアイデアを取り入れ、コンテンツを制作することができる。映像撮影や編集の実践になり、学生の技術向上や発表の場の提供にもつながる。	4-1_市の事業に対する協力		広報シティブロモーション課

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
4	あつぎ協働大学開設事業	市民の高い学習意欲に応えるため、大学の特色に合わせた「教養科目」、厚木市の概要等について学ぶ「協働科目」、市内企業と連携した、企業の取り組みなどについて学ぶ「企業科目」を実施する。また、講義で得た学びを有効活用し、自主的な市民活動へつなげることを目的に、受講修了者を対象に相互の交流促進や活動を始めるための実践的な知識・情報を習得する「実践科目」を実施する。	市民と行政の協働によるまちづくりを実現するため、学習機会を提供し、及び専門的な学習要求に応えらるとともに、まちづくり等の活動を主体的にできる人材を育成する。	H20年度	東京工芸大学：5名 神奈川工科大学：5名 湘北短期大学：4名 松蔭大学：5名 東京農業大学：4名	2,352	多様化・高度化している市民の生涯学習ニーズに応えており、受講者から高い満足度を獲得している。	4-1_市の事業に対する協力		生涯学習課
5	あつぎ協働大学特別講座	幅広い世代を対象に大学での研究にかかわる知識、技能、技術を講座として開催する。	市内5大学との協働・連携を通して、小中学生に知識、技能、技術を体験活動させることで、大学に対する興味関心を高め、学びの楽しさを知ってもらおう。	H24年度	松蔭大学：2名 東京農業大学：2名 湘北短期大学：2名	2,352	多様化・高度化している市民の生涯学習ニーズに応えており、受講者から高い満足度を獲得している。	4-1_市の事業に対する協力		生涯学習課
6	厚木市職員採用試験	東京農業大学厚木キャンパスにおいて、厚木市職員採用試験を実施する。	厚木市人材育成基本方針に基づき、幅広い視野と感性を持った、意欲と情熱のある人材を確保する。	H27年度	厚木市職員を志す学生・社会人等	—	都市間競争が進む中、厚木市が将来にわたって持続的な発展を続けていくためには、意欲と情熱を持った人材を確保する必要がある。	4-1_市の事業に対する協力		職員課

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
7	SDGs推進事業	市内事業者や大学、庁内関係課の協力により、SDGsに関するパネル展示や体験コーナーを設けた「あつぎSDGsフェスティバル」を開催する。	来場者にSDGsの取組を広く周知するとともに、SDGsの自分ごと化を図る。	R4年度	神奈川工科大学 湘北短期大学 東京農業大学	1,990	国や県は、SDGsの取組を積極的に推進しており、本市においても持続可能な社会の実現に向け、SDGsの取組を推進する必要がある。 「SDGs」という言葉や概念はとかく「分かりにくい」と思われがちであるが、本事業の実施により、SDGsをより身近なものとして捉えていただくとともに、市民相互のつながりを深めるきっかけとする。	4-1_市の事業に対する協力		企画政策課
8	神奈川工科大学での防災対策チェックリスト作成研修	地域連携及び防災対策に注力している神奈川工科大学にて、施設見学及び防災対策チェックリストの作成を啓発していく。	障がい者及び支援者が平常時から防災意識の醸成及び気付きの促進を目的とする。	R4年度	神奈川工科大学地域連携・貢献センター センター長 小川 喜道 名誉教授 他	—	神奈川工科大学のリスクマネジメント機能を活用し、一人ひとりが災害に備えた意識の向上に寄与することができる。	4-1_市の事業に対する協力		障がい福祉課
9	フレイル予防教室	フレイル対策が必要と思われる高齢者に対し、専門知識を有する者が作成した運動、栄養、社会参加等のフレイル予防に関する内容の健康教室(4圏域)を実施する。	令和6年度厚木市高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業の一環としてフレイル予防教室を開催し、参加者の運動機能向上を図る。	R3年度	・神奈川工科大学 ロボット・メカトロニクス学科 高橋勝美 教授 地域連携・貢献センター長 小川喜道 名誉教授 他	4,400	高齢者に対する運動機能評価等の研究を行っている教授が本事業に携わることにより、独自の測定機器を使用するなど、他にはできない効果的な取組みを実施することができる。 また、事業の効果としては、参加者の運動機能向上により介護予防及び医療費削減に繋がる。	4-1_市の事業に対する協力		国保年金課

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
10	厚木市カーボンニュートラル推進ネットワーク	市と市内の企業、大学、金融機関等が、分野を超えて相互に連携、協力し「カーボンニュートラルなまちづくり」を進める中心的組織として、「厚木市カーボンニュートラル推進ネットワーク」を設立し、事業の検討、実施、情報の共有を行う。	各参加主体の脱炭素経営と市内のカーボンニュートラルなまちづくりを進める。	R4年度	神奈川工科大学 東京工芸大学 東京農業大学 松蔭大学 湘北短期大学	—	市内の主な主体である大学と連携してカーボンニュートラルに向けて取組を進めることは、学生を始めとした市民に対するPR効果が高い。	4-1_市の事業に対する協力		環境政策課
11	河川学習事業	準用河川恩曾川にある親水広場を活用し、水質調査及び水生生物調査並びにごみの状況調査を行う。	子どもたちが身近な河川での環境学習に取り組み、環境の実態を把握し、河川を大切にすることを育む。	H19年度	東京農業大学 農学部野生動物学研究室 佐々木剛教授、 野生動物学研究室学生35人	123	専門的知識を持つ大学教授や学生から指導を受けることにより、子どもたちの河川に対する興味が広がり、身近な河川環境保全の大切さを次世代に引き継ぐことができる。	4-1_市の事業に対する協力		河川下水道 総務課
12	学生消防団活動認証制度	厚木市消防団に入団している大学生、大学院生又は専門学校生が、消防団員として真摯かつ継続的に消防団活動に取り組み、顕著な実績を収め、地域社会へ多大なる貢献をした功績について、厚木市がその功績を認証する。	厚木市消防団に入団している大学生、大学院生又は専門学校生が、「大学生等消防団員として、地域社会へ貢献をした功績を厚木市が認証し、就職活動を支援する」ことを目的とする。	H29年度	消防団に在団する学生	—	学生の就職活動を支援し、学生消防団員のメリットを付与することにより、消防団員の確保及び活動への意欲向上が図られる。	4-1_市の事業に対する協力		消防総務課
13	ロボット教室	子ども科学館が主催するイベントにおいて、来館者を対象とし、学生が講師となって工作教室を行う。	子どもたちの科学や物づくりへの関心を深める機会を創出するとともに、ロボット製作を中心に活動する学生団体が日頃の研究成果を発揮し、工作指導の経験を積む場として開催するもの。	H26年度	神奈川工科大学KAIT EDTC の学生6名	13	大学のノウハウを借りることで市民サービスの向上を図るうえで効果的である。	4-1_市の事業に対する協力		青少年課

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
14	サイエンスウインター2024	子ども科学館が主催するイベントにおいて、来館者を対象とし、市内高校生及び大学生、その他市民団体等が講師となって、実験や工作教室を行う。	市内の大学、高等学校及び市民活動団体との市民協働による、子どもたちの科学や物づくりへの関心を深める機会を創出するとともに、学生を始めとする各出展団体の日ごろの研究成果を発表する場として、開催するもの。	H26年度	神奈川工科大学 ①三栖先生研究室 (教員1名、学生6名) ②KAIT EDTC (学生6名)	—	大学のノウハウを借りることで市民サービスの向上を図るうえで効果的である。	4-1_市の事業に対する協力		青少年課
15	大学図書館・公民館図書室等ネットワーク事業	市立図書館所蔵資料の大学図書館への貸出(学生・職員の利用)や市民の大学図書館閲覧利用、市立図書館を經由して大学図書館所蔵資料を市民に貸出する。	大学図書館との相互協力により、市内大学に通う学生・教職員に対する図書館サービスの充実を図るとともに、市民も大学図書館の情報力を活用することができるようにする。	H13年度	・神奈川工科大学 ・松蔭大学 ・湘北短期大学 ・東京工芸大学 ・東京農業大学	38,805	大学の学生・教職員の利便性を維持し、市民が大学図書館の専門情報を利用するために、必要な事業である。また、大学図書館の地域開放を促す効果があると考えられる。	4-1_市の事業に対する協力	事業費のうち、大学図書館との搬送費の予定は3千円	中央図書館
16	教育支援教室運営事業 (教育支援教室集団体験「動物飼育活動」)	教育支援教室通室児童・生徒等が、専門的知識を持つ東京農業大学の准教授と学生のサポートを受けながら、動物飼育活動を行う。	教育支援教室通室児童・生徒等が、東京農業大学の准教授及び学生と共に、動物飼育活動を通して、人と関わることの楽しさや動物にふれる喜びを味わうことにより、集団生活への適応を図る。	H26年度	東京農業大学 川嶋准教授、学生約15人	15,174	小集団での体験活動を通して対人関係のスキルを向上させ、また、達成感や満足感を味わうことにより、自尊心や自己肯定感の向上につながる。	4-1_市の事業に対する協力		青少年教育相談センター

#### 4-② 事業協力（大学の事業に対する協力）

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
1	オーストラリア学生交流事業	オーストラリアからの学生が市内大学を訪問し、授業参加や日本文化体験等を通して、国際交流を深める。	湘北短期大学と姉妹提携を行っているオーストラリア ニューカッスル大学の学生が厚木市を訪問し、湘北短期大学学生や厚木市民との交流を図る。	H14年度	湘北短期大学	—	湘北短期大学と姉妹提携を行っているオーストラリア ニューカッスル大学の学生が厚木市を訪問し、湘北短期大学学生等が中心となって実施する国際交流を支援することで、未来の国際交流を担う学生同士の交流を活性化させることに寄与している。	4-2_大学の事業に対する協力		企画政策課
2	松蔭大学看護学部実習受入れ	老人福祉センター寿荘において、看護学部の臨地実習を受け入れ、学生が寿荘で活動する高齢者と交流する。(老年看護学)	市内大学で看護師を目指す学生の資格の取得に寄与する。	H28年度	・松蔭大学 教授等2人(看護学部 草地 潤子教授、ほか1人)、学生41人	—	学生と高齢者との交流支援として寄与できる。	4-2_大学の事業に対する協力		健康医療課
3	神奈川工科大学健康医療科学部実習生受入れ	神奈川工科大学の学生を市立小学校の単独調理場および学校給食センターにて受入れる。	学生の学校給食への理解を深めるとともに、管理栄養士としての資質向上を図る。	H22年度	神奈川工科大学学生(健康医療科学部管理栄養学科)12名	—	大学の必修科目である実地研修を本市で行うことにより、事業目的の達成に寄与することができる。	4-2_大学の事業に対する協力		学校給食課